

# プラタナス

新宿区立四谷中学校  
学校だより  
第10号  
平成22年12月24日

2学期を振り返って

## 通知表をこれからの生活・学習に生かそう

校長 吉田 和夫

2学期にはさまざまな行事や取り組みがありました。それを通して、四谷中学校の生徒の皆さんの良さがとてもよく分かりました。それと同時に、いやだからこそ、四谷中生の弱さと言うか、残念な点も感じました。今回は、2学期を振り返るために、皆さんが本日もらう通知表について考えてみたいと思います。保護者の方もどうぞお読みください。

### 1. 何のための通知表なのか

通知表は授業の「評価」を示すものです。「評価」(英語でEvaluation)は本来「良さを価値付ける」(evaluate)ものです。ですから、本当の「評価」は、生徒の皆さんや保護者の方々がすぐ気にする、「5・4・3・2・1」という数値(総合的な「評定結果」)ではなく、学習指導要領に基づく、学力の3要素とそれにつながる4観点である「観点別学習状況の評価」つまり、各観点のA・B・Cが、本当の評価なのです。これは授業中の指導に対する結果です。



では、学力の3要素とは何でしょうか。学校教育法第30条第2項には「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない」とあります。つまり、学力の3要素とは次のものです。

- 【1】基礎的・基本的な知識・技能
- 【2】知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 【3】主体的に学習に取り組む態度



中でも、「主体的に学習に取り組む態度」が大切です。四谷中学校では、今後「自ら進んで学習に取り組む意欲」を高めることを重視したいと思っています。

新学習指導要領での「観点別評価」の4観点と学力の3要素は、次のように図示できます。

#### 新しい観点

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

※各教科の評価の観点は上に示した観点を基本にしつつ教科の特性に応じて設定

#### 学力の3つの要素との整理

- 基礎的・基本的な知識・技能

➡ **技能** 及び **知識・理解** で評価

- 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等

➡ **思考・判断・表現** で評価

- 主体的に学習に取り組む能力

➡ **関心・意欲・態度** で評価



## 2、各教科共通の4観点と

### 教科の特性に応じた観点の設定

この「新しい4観点」は、各教科共通のもので、各教科の評価の観点は、この4観点を基本として、各教科の特性に応じて設定されます。例えば、国語では評価の観点は5観点で、

- ① 国語への関心・意欲・態度
- ② 話す・聞く能力
- ③ 書く能力
- ④ 読む能力
- ⑤ 知識・理解・技能

(新学習指導要領では「言語についての知識・理解・技能」です。)



これは国語科の例ですが、各教科特有の観点の基本には、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」という4観点があることを理解してください。ですから、たとえ「知識・理解」のテストで95点が取れたとしても、他の要素により成績は異なってきます。



### 3、「関心・意欲・態度」の評価について

さて、特に重視したい観点の評価は、「関心・意欲・態度」です。この観点は、各教科が対象としている学習内容に対してどれだけ関心をもち、どこまで自ら課題に取り組もうとしているか、その意欲や態度をどの程度生徒が身に付けているかを評価するものです。これは、学力3要素の1つであり、最も重要なものです。2000年から行われているOECD・PISA調査での学力低下傾向は、今年度少し向上しましたが、全国学力・学習状況調査の結果などによれば、日本の児童生徒の「学ぼうとする意欲」は、他の先進諸国と比較して大きな課題があると言えます。



学力を高めるためには、自ら学ぶ力、興味・関心・意欲をもち主体的に学習に取り組む態度、学ぼうとする力が必要です。それは、他の観点である「思考・判断・表現」や「技能」「知識・理解」に関わる資質や能力の育成と定着に密接に関わり、これらの基盤となります。その意味で「関心・意欲・態度」の評価は、教員の指導と生徒の学習の状況に関わる重要な評価です。

この評価は、授業中の学習活動や面談における発言や行動等によって、あるいはノート、ワークシート、レポートなどの作成、口頭や文書による授業中の発表などによって行われます。

もし、通知表の「関心・意欲・態度」の観点到C評価があるなら、生徒の学習意欲や授業態度について、保護者として十分警戒する必要があります。ぜひ、学校公開や授業参観などで、生徒の状態を把握して戴きたいと思えます。また、ひょっとすると、生徒の興味・関心・意欲を喚起させられない指導や学習活動の組織など、教員の側に何らかの課題があるのかもしれませんが。その場合は、率直に先生方と話をなさるとよいと思えます。他の観点はともかく、この「関心・意欲・態度」については、「その気になれば」十分取り戻すことができます。

紙面の関係で、今回は他の観点についての説明ができませんでしたが、平成24年度から完全実施される学習指導要領を踏まえ、今後の授業のあり方や対応などについて、今後継続してお知らせする予定です。

本日で、2学期が終わります。多くの行事や学校の取り組みに対し、ご理解、ご協力戴きましたことを感謝申し上げます。次のステージに向けて良き冬休みやお正月となることを期待しています。



### これからの主な行事

- 1月11日(火) 始業式
- 17日(月) 2年 スキー教室事前検診
- 19日(月) 2年 スキー教室 (3泊4日)
- 20日(木) 1年 フラネタリウム教室
- 24日(月) 2年 代休

- 2月23日(水) 都立高校学力検査
- 24日(木) 定期テストD (~28日まで)

- 3月 3日(木) 新入生体験入学
- 8日(火) 学習発表会
- 10日(木) 3年 を送る会
- 11日(金) 3年 遠足
- 18日(金) 卒業式
- 25日(金) 修了式

